2026 年 11 月 5 日

調査レポート

今月のグラフ（2026 年 11 月）
銅価格、高値圏で推移

調査部　主任研究員　芥田知至

世界景気に敏感とされる銅価格が高値圏で推移している。国際指標となるロンドン金属取引所（LME）の 3 カ月先物をみると、2026 年 9 月 10 日に 1 トンあたり 14,875 ドルと史上最高値を記録した。

電気伝導性に優れる銅は、そもそも電気自動車や再生可能エネルギー向けの需要拡大に加えて、人工知能（AI）・半導体に関連した需要増加も見込まれて、需給引き締まり観測が強まりやすかった。

また、第 2 次トランプ政権の誕生後、米当局が銅製品などとともに銅地金の輸入にも、追加関税を賦課するとの観測が浮上した。米国内で取引される銅の価格は関税分だけ高くなるとの思惑が働き、COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅価格を含めて、米国内で取引される銅価格は、国際的な価格よりも高くなった。このため、各地から銅地金が米国に輸入されて、米国外の銅需給を引き締め、LME 銅相場にも押し上げ要因になった。

最高値をつけた 9 月 10 日に、銅地金への追加関税について、米政権がまだ検討中と報じられると、銅の LME 相場は一時下落したが、その後も関税賦課観測は根強く 14,000 ドル台を中心に推移し、高止まりしている。

銅価格と米国の主要半導体関連企業で構成されるフィラデルフィア半導体株指数（SOX）は、ともにエレクトロニクス関連需要動向に敏感とみられ、連動性が強かったが、足元では SOX が下落気味なのに対して、銅価格は高止まりしている。AI に対する期待の変動や長期金利高止まりのマイナス影響が SOX でより強く表れ、銅価格は米関税賦課観測で支えられているためと思われる。

図表　銅価格（LME）とフィラデルフィア半導体株指数（SOX）の推移



（出所）Bloomberg

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。
（お問い合わせ）調査部　E-mail：chosa-report@murc.jp　担当（芥田）TEL：03-6733-1634

－ ご利用に際して －

■ 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

■ また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。

■ 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

■ 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングと明記してください。

■ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

（お問い合わせ）調査部　E-mail：chosa-report@murc.jp　担当（芥田）TEL：03-6733-1634